

【水の作文大賞】

限りある資源を守るために

熊本県 真和中学校 三年 松本 佳子

私の住む熊本県は一級河川である球磨川や熊本市内にある江津湖などの豊かな資源に恵まれています。そのため、蛇口をひねればすぐにおいしい水を飲むことができます。

私は小学生の時総合学習で浄化センターを訪問した。そこではいくつもの工程があり、莫大な費用と時間をかけてきれいな水が作られていることを知った。私たちは生活の中でもっと水に負担をかけないようにしなくてはならないと感じた。

母は、台所で洗い物をする時必ず洗う前にいろいろな紙や布を小さく切ったものを準備して、それで一度お皿や鍋をふいてから洗剤と水で洗う。家ではそれがあたり前なので私も手伝いをする時は同じ様に作業していた。でもある時その工程をなぜ行うのか疑問になったので母に確認を試みた。

「お母さん、洗い物をする前にどうして一度ふいてから洗っているの？」
「油やたべかすがそのまま下水として流れていくよりも、少しでもそれを流さない方が浄水に負担をかけないだろうと思うんだよね。」と、母は答えた。私はその言葉を聞いてとても納得をした。

それを聞いて私の生活も見習ってみることにした。朝起きて顔を洗う。トイレに行って水を流し手を洗う。学校に行って給水器で水を飲む。理科の実験の後に道具を洗う。学校から帰って来てまた手を洗い、ごはんを食べて食器を洗い、お風呂に入る。

この生活の中で母の様に少しでも資源のために出来ることがあると考えました。私たちそれぞれがそれぞれの家庭の水の使い方や排水の汚染を少しでも気にかけることによって私達の地球の大切な資源である水を守ることに繋がっていくと思う。

日本、そして熊本は世界の中でも水に関する苦労は少ないと思う。水を川に汲みに行かなければならないから学校に行けない子供がいる国も

あると聞いたこともあります。水に関して苦労することのない生活をあたり前だと思ってはならない。今、自分ができることを行動に移して行きたいと思う。

約四十年前の日本は、川の汚染の原因の大部分は工場排水だったと聞いたことがあります。それが今ではそのほとんどが生活排水になってしまった。ここ熊本に住む私たちは、熊本地震を経験し水のありがたさを改めて知った。加えて球磨川の洪水でその恐ろしさも知った。豊富に水がある分、その使い方を間違ってしまうえばその反動も大きいのだと私は思う。

これをきっかけに、多くの人が、そして私たち中学生が、水を大切にしようとする努力をすれば、日本の水はもっときれいになるし川も海もきれいになるだろう。

これからの未来はきつと私たちの手に託されている。水に感謝し、大切にできるような人間になる。その小さな行動、それはきつとこれから世界の平和にも繋がっていくにちがいない。
おいしい水、今日もありがとう。感謝。